

(陳受22第22号)

武蔵野市民社会福祉協議会及び財団法人武蔵野市福祉公社社屋移転候補地調査に関する陳情

受理年月日

平成22年6月8日

陳情者

吉祥寺東町1-16-1
原 利子 ほか1名

陳情の要旨

去る2月15日、武蔵野市民社会福祉協議会及び財団法人武蔵野市福祉公社社屋移転に関する陳情が提出され、採択されました。

地域福祉に多年にわたり尽力してきた者として、このたびの社屋問題はこれからの地域福祉の推進に多大の影響のある問題として、関心を持っております。

地域の住民一人一人に最も身近に活動する地域福祉活動推進市民協議会活動は、社会福祉協議会（通称市民社協）が市民にわかりやすいところにあって、広く知られ、親しまれることが必須とのことです。したがって、新社屋として下記の意見実現の可能性につき、ぜひ議会で御検討いただきたく陳情いたします。

新社屋移転は、耐震の関係で早急に移転先を決定したい旨を伺っておりますが、これから市の第五期長期計画策定及びそれに平行して新しい武蔵野市地域福祉計画の策定を控え、あるべき市民社協像が定まり、活動の方向性が決まった上で、活動にふさわしい社屋の設計が行われることを期待いたします。

日常活動の中で、社会福祉協議会がまだ市民全体に浸透しているとは言いがたく、もっとその活動が周知され、利用されれば、地域活動と連携して、援助を必要とする市民の支えになれるはずです。

社協はより広く、より深く市民に知られ、活用されるよう、できるだけ交通の便がよい場所にあることが望まれます。下記の候補地につき、調査の上で、その使用の可否に関する納得いく説明を引き出していきたいとたく、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 武蔵野市民社会福祉協議会及び財団法人武蔵野市福祉公社の新しい移転先候補地として、市の重要施設の集中する一角につながる旧中央図書館跡地に、他の機能、センターなどとの複合施設として建設することについて、調査・検討を行った上、実施の可否に関する説明を行うこと。
- 2 調査結果が出るまで、現在の移転計画を一時休止すること。